

一般社団法人第5期（通算23期） 会長退任にあたって



須永 修通*

令和2年5月26日に開催されました一般社団法人日本太陽エネルギー学会・第10回定時社員総会（新型コロナウイルス抑制のため委任状と代表者によるWeb会議）が終わり、第5期会長を退任しました。平成30年5月の会長就任以来2年間、無事に任期を全うすることができましたのも、会員の皆様のご支援と、第5期の理事・各委員会委員・各部会委員の方々、それから事務局の池田祐一事務局長、荒井洋子様、竹井泉様のご協力の賜物と、心より感謝いたしますとともに厚くお礼を申し上げます。

2年前を思い起こしてみますと、地球温暖化防止のために再生可能エネルギー100%（100% RE）を目指すことが世界の潮流になっていました。しかし、日本はかなり遅れをとっており、それを実現するには飛躍的な改革が必要であること、また、すべての再生可能エネルギーを対象とする本学会の果たす役割が非常に大きいこと、を強く感じました。

一方、本学会の認知度は低く、特に学会名が「太陽エネルギー学会」であることから、一般の方だけではなく、多くの専門家からも太陽熱・太陽光発電のことだけを扱っている学会と認識されていました。また、学会離れの波は本学会でも例外ではなく、個人会員の数も減少傾向にありました。さらに、長年本学会を支えていただいた川越繁一事務局長の退任という節目でもありました。

そのような情勢の中、本学会を発展させ、100% REの実現を進めるためには、まず本学会の認知度を上げることが重要で、そのためには、様々なこと、特に下記が必要と思いました。

- ①学会の定款と名称を実態に合わせること
- ②ホームページを充実させること
- ③学会誌を充実させること
- ④会員増のために論文発表数を増やすこと
- ⑤学校会員を増やすこと

学会名の変更は、過去に数回議論されたことがありましたが、「**太陽エネルギーはすべての自然エネルギーの源**」であり、大変素晴らしい名称であることや、学会名の変更には大きなリスクを伴うことなどから、特に長老の先生方からの反対が強く、実現しませんでした。そこで、理事の方々と相談して、まずは「**太**

陽エネルギーに関わる...」と限定されていた定款を「**太陽エネルギーをはじめとする風力・バイオマス等の再生可能エネルギー利用、並びに、持続可能な社会構築に関する事項に関わる...**」と改定しました。（すぐにホームページにも掲載しました。）学会名の変更については、今後の動向をみて、ご検討いただければと思います。なお、光田憲朗副会長兼学会規程委員長（次期会長）のご尽力により、各種規程にあった齟齬なども多数修正しました。

ホームページは、加藤和彦広報委員長を中心として大改定されました。内容が非常に充実するとともに分かり易くなり、2020年4月には会員専用ページも設置されました。今後のネット社会では大きな役割を果たしてくれるものと期待されます。

学会誌は、塙藤徳編集委員長の下、表紙に取り扱う分野名を明示し、また特集記事などの内容を充実させてきました。公募で決まった新しい表紙デザインは斬新で、大変好評です。

学会活性化と若者の学会離れを防ぐために、若尾真治副会長兼学会活性化委員長が若手研究発表会を企画し、第1回（2019年8月、早稲田大学）が開かれました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年予定していた第2回は中止となりましたが、今後、益々参加者が増えると思います。

学校会員増（中高生への啓発）のために、太陽・再生可能エネルギーを分かり易く解説したパワーポイントなどの教材（資料）を作成することを考え、本学会を紹介するパワーポイントを試作しました。理事会メンバーには好評で、今後、委員会で作成していきたいと思っています。

その他、各委員会・部会のご努力により、例えばソーラーカー講習会やPV夏合宿、各種講演会・講習会などが開催され、活性化に努めて来ました。

今、役員・委員・事務局の中に本学会を盛り立てようという機運が満ちています。これが会員の皆様1人1人に広がり、本学会が盛んになり、やがては100% REの達成すなわち地球温暖化防止に繋がっていただきますよう、皆様に心からお願い申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。

* 東京都立大学（首都大学東京）名誉教授